

東京庄原格致会会報

第27号

2019年9月

発行人・積山弘佳
編集人・武広 巖
印刷所・(株) クレスコアース
コミュニケーションズ

三十度総会・懇親会の報告

東京庄原格致会三十年 度総会・懇親会の報告 〔秋晴れの下41人の会員が集う！〕

平成最後となる三十年度東京庄原格致会総会・懇親会が10月21日、四谷の主婦会館プラザエフで盛大に催されました。当日は絶好の秋晴れに恵まれ御来賓4人に会員41人（うち、同伴者2名）の皆さんが一年ぶりの再会を楽しみに集いました。

【総会】

定刻12時に花田和教副幹事長（40年卒）の司会で総会が始まりました。冒頭にこの一年間に亡くなられたと事務局に報告のあった5人の方にご冥福を祈って黙祷が捧げられました。次いで積山弘佳会長（35年卒）から①母校創立百二十周年記念事業への協力御礼②豪雨被災者へのお見舞い③「継続は力」



積山会長

で会の運営に当たりたいなどの決意が述べられました。

続いて来賓の母校教頭の重森佳裕先生から①先の台風で芸備線が不通になり生徒が通学の足を奪われ苦労したこと②31年度に新設予定の「医療・教職コース」等についてお話をいただき、今後とも母校への支援を要請されました。同窓会本部の片山孝昭会長か



出席された皆さん

らは一年ぶりの再会を喜ぶとの言葉に続いて①記念事業への協力のお礼と事業の一環として整備した裏庭で生徒が余暇の時間を過ごしている。②記念講演を福場美知留さん（東京庄原格致会副会長45年卒）にお願いしたが、生徒は一生懸命に聴いていた。③今年11月の本部の総会で役員の大規模な入れ替えが予定されている。自分も伊達前会長の後を受け8年間やってきたが後進に譲ることになっている。④東京庄原格致会の益々の発展と参加者の健康を祈ると結ばれました。



重森教頭先生



母校同窓会 片山会長

【懇親会】
カープの応援歌がバックに流れる中、名司会者・助政千尋幹事（40年卒）の司会で懇親会に入りました。
乾杯は出席者の中の最年長、室伏孝一顧問（25年卒）から学生時代の思い出話に加え、10月16日の格致会ゴルフコンペで優勝された話を交え来春のコンペへのお誘いがあった後、健康で一年ぶりに再会できたことを祝い、今日の一時を楽しく過ごそうとの挨拶を受けて本番に入りました。
まず、「お腹を満たしましょう」との司会者の声で一斉に食事タイム。壁際のテーブルに並んだ料理

積山会長を議長に議事に入り、29年度の事業報告・決算報告が武広巖事務局長（48年卒）から行われ遠藤靖夫監事（37年卒）の監査報告があり、満場一致で承認されました。
次いで寺川勝海幹事長逝去の後、一年余空席のままになっていた幹事長に武広巖事務局長を充て、その後の事務局長に奥重秀彦幹事（47年卒）という役員改選案が会長から提案がなされ全員の拍手で決まりました。



世羅高校 東京校友会 吉宮会長



庄原実業高校 東京支部 上田副支部長

の中から自席に運び、ビールやワインなど好みの飲み物を飲みながらの歓談が始まりました。
一時をおいて来賓の祝辞に移り、庄原実業高校東京支部上田（カミタ）知江副支部長から、次いで世羅高校東京校友会吉宮孝治会長からお祝いの言葉をいただきました。なお、上田実業副支部長から「実業の来年度の総会（5月18日）に2016年リオ五輪の金メダリスト金藤理絵さんが参加するので格致会の皆さんにも参加してほしい」との要請がありました。



林家ひろ木さん

助政さんのユーモアを含んだ軽快な司会で会は進み、特に最年少出席者の落語家 林家ひろ木(本名 沖上比呂志 平成10年卒)さんとの軽妙なやり取りは満場を沸かせました。

恒例となった庄原民謡「敦盛さん」を大岩征子さん(37年卒)のアカペラでのリードで歌ったあと、校歌・応援歌・それ行けカープの斉唱が始まりました。

時間は容赦なく進みいよいよ御開。迫田芳徳副会長(34年卒)の「健康が第一、身体に気を付けて来年もお会いしましょう」との言葉に添えて三本締めで終幕となりました。

「今日の日はさようなら」が流れる中で来年の再会を約しての散会となり、学年別同窓会や仲間との二次会に流れる方たちがありました。

出席者名簿

片山孝昭	庄原格致高校同窓会会長
重森佳裕	庄原格致高校教頭
上田知江	庄原実業高校東京支部副支部長
吉宮孝治	世羅高校東京校友会会長
室伏孝一	昭和二十年 (山内西)
兼利早蔵	昭和二十八年卒 (西城)
飛谷安宣	昭和二十二年卒 (山内東)
中田唯之	同 (春田)
長尾文雄	同 (本村)
中村紀子(国原)	昭和三十三年卒 (三田市)
合田良三	同 (川北)
森沢 進	同 (川北)
生田八洲紘	同 (濁川)
香川邦生	昭和三十四年卒 (川北)
黒田正宏	同 (山内西)
迫田芳徳	同 (山内西)
熊原 清	同 (山内)
田淵統洋	昭和三十五年卒 (庄原本町)
積山弘佳	同 (口和)
八谷英樹	同 (比和)
遠藤靖夫	昭和三十七年卒 (高)
天野皓昭	同 (庄原本町)
新山千櫻	同 (西城)
大岩征子(花好)	同 (庄原本町)
池田 強	昭和三十八年卒 (庄原)
小池正之	同 (庄原)
塚原通彦	同 (総領)
岡崎千鶴子(伊藤)	同 (川北)
川野正江(明石)	同 (西城)
平川智子(向田)	同 (高野)
渡邊千草(岡田)	同 (川西)
中田 毅	昭和三十九年卒 (春田)
助政千尋	昭和四十年卒 (川手)
田中文男	同 (板橋)
田辺 実(奥様同伴)	同 (峰田)
花田和教	同 (西城)
新宅一二三	昭和四十二年卒 (三次)
奥重秀彦	昭和四十七年卒 (口和)
原本政至	昭和四十八年卒 (口和)
西川 進	同 (木戸)
畑原裕文	同 (比和)
武広 巖	同 (宮内)
林家ひろ木(沖上比呂志)	平成十年卒 (東城)
小林正治	元東京広島県人会幹事(武広氏同伴)

氏名の中の()は旧姓・本名

令和元年度

総会・懇親会のご案内

十月二十日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月二十日(日)に開催いたします。

母校の校長先生並びに本部同窓会会長などにも案内状を差し上げております。

備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 令和元年十月二十日(日)

(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間(お開きは一五時

三十分を予定しております)

二、会場 主婦会館プラザエフ

(八階 スイセンの間)

所在地 東京都千代田区六番町十五番地

電話 〇三・三二六五・八一二一

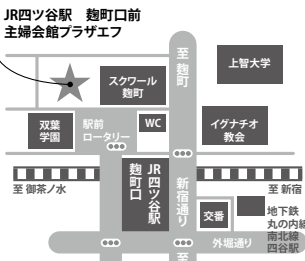
三、会費 八千円

(但し女性並びに同伴の方は

六千円)

※年会費(二千円)は、当日受付でも承ります。

総会・会場のご案内



主婦会館プラザエフ
東京都千代田区六番町十五番地
TEL. 03-3265-8111

- ・JR「四ツ谷駅」麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷駅」1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線「四ツ谷駅」3番出口(徒歩3分)

「ご挨拶」



東京庄原格致会会長
積山 弘佳
(昭和三十五年卒)

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。また平素より東京庄原格致会に対し、ご支援とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年10月21日(日)、主婦会館「プラザエフ」に於きまして、本会の総会・懇親会を会員の皆さま41名の参加と来賓として庄原から母校の重森教頭先生、同窓会本部から片山会長、東京からは庄原実業東京支部の上田副支部長、世羅高校東京校友会の吉宮会長を、お迎えし盛大に開催することができました。その模様は別掲の報告にありますので省略させて頂きます。

本部同窓会も藤光会長をはじめ、新しい役員陣容で会員相互の親睦と福祉、母校の隆盛・地方文化の振興を促進されております。東京庄原格致会としても今後とも協力して参りたいと思っております。

母校も創立百二十周年記念事業を終え、今年度から県北での人材育成校として、「いのちを学び・こころを学び・そして未来へ」と医療・教職コースを創設されました、これから人生100年時代を迎えるにふさわしい人材育成の教育が実現されます。

実は私事ですが、今年3月から歩行困難になり近くの病院に駆け込みました、腰椎椎間板ヘルニアと診断され、手術の為、横浜医療センターに搬送され一ヶ月、養生の為また元の病院に戻り、その後リハビリテーション病院に移り入院生活を三ヶ月間致しました。医師・看護師・理学療法士・作業療法士の人達に助けられ日常生活が出来るまで回復致しました。また故郷を遠く離れておりますと身内、近隣に頼る事も出来ず、職場の同僚や中学・高校時代の同期の友人達が、再三お見舞いに来てくれまして昔話に花が咲き、励ましの言葉が力に成りました。持つべきものは友なりをおおいに感じた次第です。新設の医療・教職コースの県北・庄原での大なる発展を期待しております。

東京庄原格致会は、関東一円に在住される母校の卒業生、在籍さ

れた方々で組織され、会員相互の親睦、母校の発展に貢献する事を主な柱として、先輩方が、伝統と歴史ある母校の同窓の会を立ち上げられました。この創設の趣旨を受け同窓生相互の親睦をより深めるため、毎年会報を発行して皆様方に送らせて頂いております。また年2回のゴルフ懇親会、近場の旅行会、囲碁同好会(毎月)を開催し会員の皆様の懇親を図っております。

また情報交換の場としてホームページを開設しております。ぜひ開いて見て下さい。

令和元年の総会・懇親会を10月20日(日)に昨年と同じく四ツ谷駅に隣接する「主婦会館 プラザエフ」にて開催をいたします。関東地方に在住の同窓生の皆様、相集い高校時代の楽しかった事、また故郷の懐かしいお話を致しましょう。是非お知り合いの方をお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

今後とも会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「格致維新、知行同一」

承の部



広島県立
庄原格致高等学校
校長 今岡 護

校長として6年目を迎えました。同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に対しましてご

支援とご協力を頂いておりますことに心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。また、東京庄原格致会の皆様は、様々な分野で活躍されておられ、在校生にとりましても励みとなっております。近年、高校卒業後の進路先として、関東地域への進学が減少している傾向があります。広島県内、或いは中国地域まででの進学や就職が殆どです。これは、経済的負担の大きさもさることながら、生徒のチャレンジ精神の減退や保護者との距離を考慮してのことと考えています。県内に留まらず、日本国内や世界を視野に入れて活躍する生徒の育成を行いたいと思っております。本校は、今年度創立百二十二年を迎え、新たな段階へと歩みを進めて

います。これまでの歴史を顧みる中で、改めて庄原格致高校の歴史と伝統を再確認し、本校が地域や県北に果たす役割の大きさを実感したところです。

今年度は、医療・教職コース開設の初年度となり、新たな教育内容の創造とコミュニケーションスキルとして、地域に根差した学校の在り方・高等学校教育を推し進めているところです。

本校のミッションにも示しているように、庄原市内だけでなく県北の人材育成校として、また、校訓に「格致致知」を掲げ、人間形成を目指した教育活動を展開していきます。これは情報が氾濫している現代において、様々な情報を鵜呑みにすることなく、自分自身で確かめ判断し、取捨選択できる力を育成するということでもあります。そして、これらの能力の基となる基礎・基本学力の定着を通して知識力の向上を図り、生徒自らが自分自身の夢や目標に向かって努力し挑戦し続ける教育を実践していきます。

今年度の本校の教育指針は、「格致維新、知行同一(承の部)」です。「格致維新」とは、百二十二

年目を迎える今年度、医療・教職コース開設に象徴される改革による躍進を目指すことを意味しています。生徒一人ひとりの多様な進路希望の実現を図り、医療・教職は言うまでもなく、各分野で活躍できる人間性と知識の育成を行います。「知行合一」とは、学んで知ったことは、実践することにより初めて身に付き実力となります。知識のみを詰め込むのではなく、体験や行動を通して生きた学力を育む教育を実践していきます。その意味において、あえて「知行合一」ではなく、「知行同一」としていきます。

今年度は、新コースの開設に伴い、広島大学・県立広島大学と協定を結び、講師の招聘や大学の講義体験等、様々な教育活動の連携を行っています。また、庄原赤十字病院への高度医療見学や医療系進学希望者の体験実習などの繋がりも定着しています。これらの学力向上に関する取組だけでなく、地元である庄原市に格致生として何ができるのか、という観点から、よいとご祭実行委員会への参加や新たな地域行事の開催等々、様々な地域連携にも精力的に取り組んでいます。

本校は、学力向上のみを追求するのではなく、習得した知識を知性として活用できることを目指し、豊かな心を育むことにより共感的な人間関係を育成する教育、周囲の人と協働して困難な課題を克服していく力の育成にも尽力しています。教職員一同、全力で生徒の活動を支援し指導していきますので、同窓会会員の皆様には、今後も本校に対するご支援とご協力をお願いいたします。

「二」挨拶



広島県立
庄原格致高等学校
同窓会会長
藤光 有
(昭和四十年卒)

会員の皆様方には、ご健勝にてお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

昨年11月の同窓会総会に於いて、役員の改選があり、片山孝昭会長の勇退に伴い不肖私が会長に選任されました。もとより浅学非才の身であります、令和の時代

が始まり会長に就かせて頂きます事、誠に光栄に存じますとともに職責の重大さに身の引き締まる思いであります。会員の皆様方のご支援ご協力を頂き、伝統ある庄原格致高等学校同窓会の運営を進めて参る所存でありますので、宜しくお願い致します。

さて、私は平成28年10月23日四ツ谷駅前の主婦会館「プラザエフ」で開催されました東京庄原格致会に副会長として出席させて頂きました。はじめに思ったのは関東地区で活躍されている、またされていた50名の同窓の先輩方、同窓の方々、懐かしい同級生の参加にビックリしました。まさに庄原格致高校同窓会の礎を見た感動がありました。この会で私は、庄原市の近況をスライドにて9項目に分けて紹介・説明いたしました。そのなかで庄原市の大きな課題である人口減少問題と東城和南原キャンパス生産要地での新しいビジネスを取り上げさせて頂きました。この事業についてふる里庄原まで研究者の方々と訪問頂き、その上でご提案頂き検討しましたが、残念ながら実施には至りませんでした。

新しい考え方、新しい情報とし

て庄原市の今後を考えるうえで大変有難く、改めてご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

また、政府の教育再生実行会議は今年5月高校の普通科改革などの提言をまとめました。

各校の教育目標を明確にし、「グローバルに活躍するリーダー育成」など特色ごとに類型化する教育、その上で技術改革にも対応できる多様な人材養成につなげる改革へ、4タイプを例示し提出されました。会員の皆様はすでにご承知いただいております通り、庄原格致高等学校では今年から医療・教職コースを新設しました。これは今から県北での医師、看護師、そして教師などに従事する人材が求められているからであります。この先進的で画期的な取り組みは、隣接する三次市で今年度開校する、併設型中高一貫教育校「広島県立三次中学校・高等学校」との関係で募集定員の獲得を案じておりましたが、実際には定員を上回る応募があり、改めてこれからの取り組みが高く評価された事だと確信しました。また、今岡譲校長をはじめ、教職員の方々が日頃から全力で生徒の活動支援・指導し

て頂いている結果であり、その証で、同窓会の誇りであります。

終わりにあたり、この会の目的に「母校の隆盛と地方文化の振興促進すること」とあります。これには皆様の故郷を思い、懐かしみ、母校を思うパワーが必要と考えます。私も皆様からのご指導ご鞭撻をいただきながら頑張っております。会員の皆様方のご健勝と東京庄原格致会の益々の隆盛を祈念し、ご挨拶と致します。

会員だより

節目の年代



中田 毅
(昭和三十九年卒)

私の学年は、1945年(昭和20年生まれ)と1946年(昭和21年3月31日早生まれ)の戦前と戦後を挟んだ年代の仲間たちです。小学生、中学生のころよく先

生から「君たちは戦後の新しい日本を切り拓いていく重要な役目を持つているのだから頑張りなさい」と事あるごとに叱咤激励を受けました。今になってみると果たしてそんな役割があったとも思いませんが、その後高校に入学したのが昭和36年4月現在の庄原格致高校スタートの年で第一期生という事になります。単なる偶然ですが、我々の同級生はここでも節目の時を過ごしてきました。

ただ、一年生の時は今の実業高校の場所と同じ校舎でグラウンドも一緒でしたので、格致高校、実業高校で別の学校という意識は殆どなく、普通科、農業畜産科、家政科の科が違うぐらいしか考えていなかったように思います。ソフトボール大会も実業のチームと対戦して負けたのを覚えていますが、仲良く行き来していました。

二年生になる3月、三日市の現在の校舎に移転しました。セレモニーの後、実業の生徒に見送られてプラスバンドを先頭に全員が歩いて移動したのを今でもはっきり記憶しています。

在学中は、格致高校から比婆西高校、庄原高校そして庄原格致高校と校名の変更、過去の歴史など

全く知らないで過ごしていました。社会人になって東京に来て東京庄原格致会に参加して初めてそういう経緯を知り、改めて会の有難さを感じました。

ところで、現在私は、毎日曜日、地域のソフトボールチームのピッチャーとして現役で活躍?しています。もう一つ、年に3回10キロマラソンに参加して走っています。ソフトボールは36歳から、10キロマラソンは70歳から始めました。6月29日「熊谷地獄マラソン」に参加します。いずれ結果を報告します。

それでは会員の皆様、総会でお会いしましょう。

母校だより



格致高校のクラブ活動について

庄原格致高校 教頭

重森 佳裕

格致高校では現在、運動部10、文化部6、同好会2の合計18のクラブが日々精力的に活動を行って

います。今年度は、5月の時点で延べ373名の生徒が入部しており、全校生徒のほぼ全員がいずれかのクラブに所属しています。今年度も昨年度に引き続き、陸上部男子110mハードルと卓球部女子団体で6月の中国大会への出場を果たしました。

その中でも全国大会の常連として活躍をしているのが、写真部です。現在、1年生8名、2年生8名、3年生6名の22名の生徒が日々創作活動に励んでいます。土曜日・日曜日を中心に尾道や宮島などの撮影スポットに出向き腕を磨く一方で、体育祭や文化祭などの学校行事では、写真班として生徒たちの奮闘を記録に残してくれるなど学校にとって貴重な役割を果たしてくれています。また、庄原赤十字病院・三次サングリーン・庄原市総合体育館などで毎年作品を展示することで、活動の成果を地域に還元しています。

写真部の昨年度の主な結果としては、

・「わたしの夏・高校野球写真展」(朝日新聞広島総局主催)で銀賞
(昨年の金賞に続き、2年連続の入賞)

- ・第42回全国高等学校総合文化祭
長野大会に3名が出品
- ・広島県高等学校写真技術大会秋
季大会で6人の作品が入賞
(2席1名、3席1名、4席3名)
- ・広島県高校写真展で12人の作品
が入賞



「わたしの夏・高校野球写真展」
銀賞『光と影』3年生 宮本 優樹



TopEye全国高校生写真サミット
チームの部 優秀賞『変わらぬもの、横浜』

- ・TopEye全国高校生写真サ
ミット(Nicon主催)で全
国の15校に選ばれ、チームの
部で優秀賞、個人の部で優秀賞
受賞

郷土だより

庄原市の誕生

同窓会副会長

奥田 虎昭

(昭和四十一年卒)

太平洋戦争が終わり空襲で焼け野原となった都市の復興に木材の需要が高まるなか、備後庄原駅頭の木材集積地にも木材が積み上げられ、周辺の製材所は活気に満ちていました。農林業の盛況は町に繁栄をもたらし、農地解放で自作地

を持った農家は副業の畜産も順調で、その熱気と勢いは市制施行へと向かいます。

広島県では昭和30年4月の総選挙までに町村合併を完了する為、市制施行の時期を3期に分け、7月1日、11月3日、3月31日に区分した。庄原市は第3期を選択し、庄原町と周辺6ヶ村(高・本田・敷信・山内東・山内西・山内北村)が合併し、同29年3月31日新自治体として出発しました。

庄原市は、昭和38年豪雪、同47年の豪雨など市民の生命財産が奪われる自然災害にありました。これにめぐることなく2,000haに及ぶ土地改良事業で農業の近代化、中国自動車道と接続する工業団地の造成、広島県立大学の設置、全国で11番目となる国営備北丘陵公園の開園、湧き出した温泉を生かしたレクリエーションセンターの開業等多くの事業をおこないました。

平成元年11月、市街地の町名変更がなされ、それまでの庄原市本町を中本町、東本町、西本町とし「本町」の地名は、住居表示の区域外となった柳原地区が引き続き「本町」と表示されることとなりました。一般的には、市役所があ

り、銀行、郵便局、警察など行政・金融機関が集まる所こそ本町という地名がふさわしいと思えるのですが、田園地帯にある柳原地域にその名前が残りました。しかしながら、中世永江荘の柳原地区は豊かな集落であり、片や旧本町地区は農耕に適さない原野であったことを思うと歴史的に見て柳原地域こそが本町の名前にふさわしいかも知れません。

半世紀を経た平成17年3月31日、庄原市は比婆郡5町(東城・西城・高野・比和・口和町)及び甲奴郡総領町と合併し、新庄原市

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

東京庄原格致会会員が上梓しました

薬剤師 惠木 弘著 (株)東洋薬行社長 定価 1050円(税込)

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らないと損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで

が出發しました。庄原自治振興区もこの時生まれました。合併の背景を眺めてみますと、庄原市が旧比婆郡下の一地区であったことから、比婆郡5町との連携は当然の成り行きとして、甲奴郡であった総領町(稲草)との関係は、江戸時代は出雲街道で結ばれ、大正時代の晩年まで庄原と田総間を荷馬車が頻繁に往来し物資の交流が盛んであったこと、田総栗石峠に昭和48年栗石トンネルが開通し、庄原と総領間が距離で3km、時間で約20分短縮されるなど、歴史的・経済的に結びつきが深いことに気づきます。

「イザナミ比婆山に眠る」などの地元本を出版

岡野 茂

(昭和四十八年卒)

古事記は、日本最古(715年)の書物と言われています。

その古事記に、「故(かれ)、その神避(かむさ)りましし伊邪那(いざな)美(みの)神(かみ)は、出雲(いずも)国(のくに)と伯伎(ははき)国(のくに)との境

の比(ひ)婆(は)之(の)山(やま)に葬(はぶ)りき」と記してあります。

何故、国生みの女神「イザナミ」は比婆山に葬られたのか?

比婆山と「イザナギ」「イザナミ」の関係は?

そもそも「イザナミ」はどんな女神でどんな活躍をしたのか?

インターネットや高速道路もないあの時代、大和(奈良)で編纂された「古事記」に何故「比婆山」が登場するのか?とても驚きで出雲と吉備に隣接する庄原・比婆も古代の重要な拠点だったのかもしれないと考えると、とても好奇心がわきました。

そんなことが動機で「比婆山御陵」やイザナギの活躍をより多くの人に知ってもらいたいと願って「イザナミ比婆山に眠る」を自費出版しました。

古事記は多くの話でできています。このため、「イザナギ」「イザナミ」が登場しているところを中心として古事記に忠実に、そして、わかりやすく絵本風に仕上げました。

以前、私も東京庄原格致会には、市役所勤務時代、市長代理として御邪魔させていただいたことがあります。また、今回、こうしてご縁

をいただきまして大変嬉しく感謝しています。

ふるさとの神話「イザナミ比婆山に眠る」に続き、懐かしい昔話を集めた「山里のむかし話シリーズ」の創作にも挑戦し「第1話永明寺の猫」「第2話だん原の狐」を発行したばかりです。次回は「第3話砂が淵の大蛇」「第4話火村さま」を予定しています。

東京庄原格致会の皆さんにも、ふるさとの地元本を読んでいただければ幸いです。

【問合せ先】
森のオフィイス 岡野茂

電話(0824) 72-4939
〒729-5813

庄原市川西町1512-7



相続、贈与、年金、保険等相談

中田税務会計事務所

税理士 中田 毅 昭和39年卒

埼玉県狭山市下奥富797-5

TEL.FAX. 0429-53-9240

J E W E L E R

miwa

東京都中央区銀座6-7-2

TEL.03-3572-5011

http://www.miwaj.com

同好会だより

【囲碁同好会】

令和初の上期カップ杯は
加藤雅男さんが

三〇年間最優秀者賞は

松田尚徳さんが獲得

囲碁同好会は現在13名の会員で
毎月第二日曜日新宿の「囲碁サロ
ン喜楽」で活動をしています。

高齢者時代の波にのまれて減り
続ける会員の歯止めとするため、
会員の推薦があれば同窓生以外の
方も受け入れをしています。現在
の会員の中には4名の同窓生でな



左から準優勝の野村さん、優勝の加藤さん、三位の坂部さん

い方が一緒に対局を楽しんでお
られます。

平成三十年一年間の表彰は12月
の例会後に行われ、松田尚徳さん
が勝率6割で最優秀賞の栄に輝き
カップと賞金を受取り、敢闘賞(二
位)は野村栄さん、努力賞(三位)
は坂部賢治さん(53年卒)がそれ
ぞれ賞金を獲得しました。

(注) 卒年の無い方はOB以外
の会員、以下同じ)

令和初となる今年上期のカップ
杯争奪決勝トーナメント戦は一月
から五月までの戦績上位八名で六
月九日の月例会で争われました。
敗者復活を織り込んだダブルエリ
ミネーション方式で競われるため
に初戦で敗退しても再び勝ち上
がって優勝するというケースも珍
しくない争奪戦ですが、今期はす
んなりと勝ち上がった加藤雅男さ
んと野村栄さんが決勝戦に進み、
中押し勝ちで加藤さんが優勝の栄
に輝きました。

三位には新山千樫さん(37年卒)
を抑えて坂部賢治さんが入り賞金
を獲得しました。

囲碁同好会は会員大募集中で
す。初心者も大歓迎です。多少な
りとも興味を持たれた方は毎月第
二日曜日の午後例会の雰囲気

眺めに来てください。

「囲碁サロン喜楽」の住所等は
新宿区新宿3-2-1-7
東新ビル7階

(☎03-3341-4545)

JR東口から10分弱の場所にあり
ます。

【ゴルフ同好会】

平成最後の戦い

東京庄原格致会・東京西城会・

馬洗会、合同ゴルフコンペ

加藤勝さん(庄原格致37年卒)

が見事に初優勝

4月23日(火)、千葉県野田市
の紫あやめ36(東コース)に女性
二人を含む20人の会員が集い、第
6回東京庄原格致会・東京西城会・
馬洗会の合同ゴルフコンペが開催
されました。

朝から晴天、絶好のコンディ
ションの下で9時18分に第一組が
スタートして和気あいあいの雰囲
気で全員元気にホールアウトしま
した。

新ペリア方式で成績を競った結
果、初出場の加藤勝さん(37年



庄原さくら温泉

かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士 (昭和48年卒)

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン & エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応
八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL : <http://www.h-soken.com/> E-mail : nisitani@h-soken.com

卒)が見事に優勝、準優勝は岩竹康良さん(馬洗会)、三位に同じく馬洗会の梶谷直美さんが入り、笑顔の授賞式に臨みました。なお、実力一位の証、ベストグロス賞は常連で今回四位の亀井勲三さん(35年卒)が今回も獲得しました。成績は次のとおりです。



スタート前の記念写真

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	加藤 勝	44	43	87	16.8	70.2
準優勝	岩竹康良	50	40	90	19.2	70.8
三位	梶谷直美	51	48	99	27.6	71.4
ベストグロス	亀井勲三	41	45	86	13.2	72.8

ドラコン・ニアピンの各賞は次の方々が獲得されました。

ドラコン	亀井勲三 (2本) 眞部 積 (馬洗会) 加藤 勝
ニアピン	松本弘行 (馬洗会) 合田良三 (33年卒) 加藤 勝



室伏会長から優勝賞金とカップを受取る加藤さん
(左から今回の幹事役・西城会 新山さん、会長の室伏さんと加藤さん)

次の開催予定日は10月8日(火)に今回と同じ、紫あやめ36(東コース)で行います。スタート時間は9時46分を予定しております。参加ご希望の方は次回馬洗会の幹事(杭迫重臣・携帯090-3502-1251)までご一報ください。初めての方も大歓迎です。

【バス旅行同好会】

東京・西城会

合同バスハイク

旅行幹事 助政 千尋
(昭和四十年卒)

9月8日(土)曇りの涼しい早朝、バスハイク参加者が、JR新宿駅西口から約5分の工学院大学前に続々集合しました。会員12名と東京・西城会員と家族、友人、東洋薬行から7名合計35名が西武バスに乗り、午前8時前に出発しました。渡された座席表のとおり座席に着き、ビールや焼酎・日本酒・お茶・つまみ等が配られました。運転手、ガイドさんの挨拶のあと、助政・加藤(西城会)の両幹事の挨拶、乾杯の後、積山会長(35卒)と新山東京西城会会長(37卒)の挨拶がありました。高速の新宿LPから東名に乗り、中井PAで休憩、ようやく一杯飲める雰囲気になりました。?? 車内では沼津に縁の深い室伏顧問(25卒)の沼津の施設等の説明がありました。午前10時過ぎ、富士山の伏流水

創業40年



二階堂調剤薬局グループ

まへの薬局本店 二階堂調剤薬局
まへの薬局北口店 大山調剤薬局
まへの薬局南口店

代表取締役 薬剤師
石井 美佐子
(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21
TEL 03-3958-9955



の柿田川湧水に到着し記念撮影後、ガイド(湧水)のこれまでの環境整備の苦労の説明がありました。1日約110万トンの湧水は日本一だそうですね。次にわさび工場、「わさびづけ」を買いました。それから三津浜の千鳥会館2Fの食堂に行き、ビールで乾杯、海鮮どんぶりを食べました。蟹と刺身が新鮮でうまい・・・の一言です。

午後1時から観光汽船に乗り、島を眺めながら沼津湾を一周しました。

カモメが多く飛んでおり、餌(カツパビゼン)を見せると「サート」と飛んできて餌を奪って行くので

びっくりです。その時、急に雨が降り出して船内での遊覧になりました。

沼津御用邸記念公園に着いたときは、晴天になっており、西付属御邸の中を見学しました。とにかく、広い・・・造りも丁寧でりっぱです。便所も風呂場も広かった。

その後、グルメ街道でアジの干物などの海産物の買い物をしてバスに乗車。

車内では、景品付きのビンゴゲーム・恵木東洋薬行会長(30卒)の漢方講話、室伏顧問の新嘗祭の歌が披露されました。

「民(タミ)ヤスカレト・如月(キサラギ)ノ・・・」初めて聴く歌でした。終戦前には11月3日の天長節に学校で歌われていたそうです。

海老名PAなどで4名が下車され、それからカラオケで盛り上がりながら、午後6時には計画通り、新宿西口近くに着きました。また、4月に会いましょう。来年会いましょう。などと声を掛けあい、それぞれ帰路につきました。

晴天で、楽しい行楽の一日でした。

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。



株式会社
クレスコアースコミュニケーションズ
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTNビル 7F
TEL.03-5207-5189
www.cresco-ars.co.jp



食彩館しょうばら

ゆめさくら



庄原のお土産は、
「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！
お食事・仕出しは、お食事処 花ほぼろで！！

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291-1
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422
〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま
代表取締役 藤光 有 (昭和40年卒)

平成 30 年度東京庄原格致会会計報告

(自平成 30 年 7 月 1 日～至令和元年 6 月 30 日)

一般会計収支報告書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	113,763	総会経費	336,477
年会費	232,000	会報作成費・発送費	250,849
広告収入	70,000	母校・他校同窓会祝い金等	80,000
総会会費	312,000	HIP更新料	32,832
お祝い	50,000	後納郵便料	10,087
寄付	40,000	振込手数料	9,780
受取利息(一般)	0	通信費等事務費	10,000
		次期繰越金	87,738
合 計	817,763	合 計	817,763

基金会計収支報告書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	84,115	次期繰越金	84,115
受取利息(基金)	0		
合 計	84,115	合 計	84,115

財産目録(令和元年 6 月 30 日現在)

(一般勘定)

郵便局 振込口座(年会費振込口座)	63,018 円
〃 一般口座(一般口座)	24,720 円
合 計	87,738 円

(基金勘定)

郵便局口座	84,115 円
合 計	84,115 円
総 合 計	171,853 円

左記のとおり報告致します。

令和元年 7 月 2 8 日

東京庄原格致会

会 長 横山弘佳
 監 事 遠藤靖夫
 監 事 塚原通彦
 事務局長(会計) 奥重秀彦

東京庄原格致会役員名簿(平成三〇年十月二十一日)

顧問	酒井 久幸(昭和二五年卒)	八谷 英樹(昭和三五年卒)	助政 千尋(昭和四〇年卒)
室伏 孝一(昭和二五年卒)	副々	福場美知留(昭和四五年卒)	若山 博文(昭和四一年卒)
兼利 卓蔵(昭和二八年卒)	幹事長	武広 巖(昭和四八年卒)	新宅 二三(昭和四二年卒)
明賀 馨(昭和三〇年卒)	副々	花田 和教(昭和四〇年卒)	吉田 玲児(昭和四七年卒)
渡利 治博(昭和三二年卒)	副々	石井美佐子(昭和四八年卒)	田原 英樹(昭和四八年卒)
飛谷 安宣(昭和三二年卒)	事務局長	奥重 秀彦(昭和四七年卒)	畑原 裕文(昭和四八年卒)
森沢 進(昭和三三年卒)	副々	西川 進(昭和四八年卒)	矢吹 文伸(昭和四八年卒)
合田 良三(昭和三三年卒)	幹事	大岩 征子(昭和三七年卒)	遠藤 靖夫(昭和三七年卒)
生田八洲敏(昭和三三年卒)		渡邊 千草(昭和三八年卒)	塚原 通彦(昭和三八年卒)
積山 弘佳(昭和三五年卒)		山城 建治(昭和三九年卒)	
副々 迫田 芳徳(昭和三四年卒)		中田 毅(昭和三九年卒)	

編集後記

同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。厳しい暑さが続き、体調維持に苦労されておられるのではないのでしょうか。今号も皆さまにご協力をいただき、母校や故郷の状況、会員の動向等を載せております。執筆いただきました皆様に御礼申し上げます。母校では三十一年度から「医療・教職コース」が新設されました。令和の時代に入り、母校の新たな躍進に期待したいと思います。

ジェットコースターに乗り続けてきたカーブですが皆様がこの会報をお読みになつている頃には、ファンと共に最後の厳しい戦いに臨んでいると思います。十月二十日の総会・懇親会で多くの皆様と、セ・リーグ四連覇の祝杯と悲願の日本一に向けてのエールを送りたいと思います。サンフレッチェも調子を上げてきています。応援できる故郷のチームがあるのは幸せなことです。それにしても、全国どこの球場でもカープの赤いユニフォームが目立つのは嬉しい限りです。広島出身でなくとも魅力あるチームということでしょう。

昨年の総会に参加していただいた、落語と津軽三味線の二刀流で活躍されている 林家ひろ木さん(平成一〇年卒)の出演のご案内をします。

九月三日、四日、六日、八日、一〇日(浅草演芸ホール)、九月二十三日(落語協会二階・黒門亭)です。高校の後輩の応援に行きませんか。生の落語は非日常の世界で幸せな時を与えてくれます。詳しくは「林家ひろ木出演情報」で確認してください。

少子化の波の中で関東に就職・居住する後輩が減少しており、東京庄原格致会も若手会

員の入会の減少が悩みの種です。知り合いの後輩がおられましたら是非入会を勧め、事務局にご連絡ください。また、会員の皆様にとって魅力ある同窓会にするために皆様の積極的参加、アイデアを求めております。会報の作成など共に運営に携わっていただける方大募集です。事務局までご連絡下さい。(武広巖)

年会費の納入のお願い!
 「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。
 御一人二千元をお願いしております。お送りしています振替用紙で入金いただきますよう、よろしくお願ひします。

ご寄付をありがとうございます。
 この一年間に次の方々からご寄付などをいただき、心よりお礼を申し上げます。
 三浦 重造 様 (二六年卒)
 宮内 伸子 様 (三二年卒)
 渡邊 千草 様 (三八年卒)
 守長 和子 様 (四一年卒)
 瀬村 和子 様 (四二年卒)
 金藤 万里子 様 (四八年卒)

ホームページ活用のお願ひ
<http://www.t-shobara-kakuchi.com>
 ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。